

## 令和2年度「学校を核とした地域力強化プラン」研修会 開催報告 (地域学校協働活動推進事業研修会)

1. 目的 新学習指導要領が本年度から順次完全実施され、社会に開かれた教育課程により、新しい時代に対応できる学びをより一層進化させる必要があり、将来を担う子どもたちの教育を支えるため、幅広い層の地域住民や企業・団体等の参画により、地域学校協働活動の推進が求められている。
- また、コミュニティ・スクール導入の努力義務化により、学校が地域資源として活用され、学校が核となって地域の人々が生き生きと活躍する学びの場を提供できる地域学校協働活動の展開が期待されている。
- そのため、地域学校協働活動のさらなる展開やコミュニティ・スクールとの一体的な推進に向けて、事業の中核を担う対象者が今後の方策や地域と学校の在り方についての学びを深める機会とする。
2. 主催 滋賀県教育委員会
3. 対象
- ・ 「学校を核とした地域力強化プラン」関連事業実施市町担当者
  - ・ 上記事業の未実施市町における参加希望者
  - ・ 市町生涯学習・社会教育担当者
  - ・ 市町学校教育担当者
  - ・ 市町コミュニティ・スクール担当者
  - ・ 地域学校協働活動の関係者
  - ・ 公立幼稚園・小・中学校教職員、県立高等学校・特別支援学校教職員
4. 日時 令和2年7月10日（金） 13:30～16:30
5. 日程
- 行政説明 本年度の事業説明および補助金事務手続きについて
  - 講演 演題：「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールとの一体的な推進」をどう考えるか？  
講師：天理大学 教授 佐々木 保孝 氏
  - 情報交換・グループワーク
6. 場所 滋賀県庁東館7階大会議室
7. 参加者数 93名
8. 概要 講師より、『地域学校協働活動とコミュニティ・スクールとの一体的な推進』をどう考えるか？』をテーマに講演をいただいた。
- 前半は「創る」をキーワードに、新学習指導要領に示される「主体的・対話的で深い学び」を実現させるためのカリキュラムマネジメントに焦点を当て、地域学校協働活動の機能的意義や子どもたちの学びを支える仕組みについて説明いただいた。さらに、「一体的推進」の視点から、学校運営協議会と地域学校協働本部の役割と関連性についても触れていただき、地域学校協働活動は、今後すべての学校においてスタンダードな実践として実施することが求められる時代になっていることを確認していただいた。
- 後半には、学習する組織を目指すための審議体づくりのポイントや、チーム学習の意義、「心理的安全」を高めるためのリーダーシップなど、具体的な事例とともに組織の運営上大事にしたい考え方や、効果を発揮する仕組み作りについて教示いただいた。

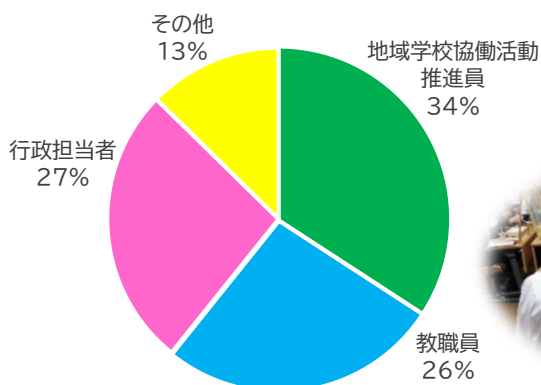


## 9. 参加者のアンケートより

- 日頃、私達が学校と関わる活動の基本理念を十分に理解する事ができました。今後も学校を支える地域力の一員として、児童達の将来の素晴らしい成長過程を胸に秘めながら共に頑張っていきたいと思います。(コミュニティ・スクール関係者)
- 先生が講義で話されたように、高校では地域が広すぎて小・中のように選定できないが、地域に「何かを期待する」ことより、自分の高校が位置するその地域に学校として「何が貢献できるか」を考えることが高校としてのCSのあり方かもしれません。(高校教職員)
- 地域活動やCSは学校の活動の肥料のようなものであるという内容に共感できました。(コミュニティ・スクール関係者)
- 本校は本年度より学校運営協議会を設置し、これからどのような事業を行っていくか検討していきます。先生のお話をうかがい、「地域の一員としての学校の地域貢献活動」を推進していく決意を固めました。(高校教職員)
- カリキュラムマネジメントと地域協働の整理ができました。教育課程の内・外の仕分け、内・外のどちらに関わっていくのか、組織・人の関わり方について整理ができました。(公立学校教職員)
- コロナ対策をしながらのワークショップの進め方としても参考になりました。お互い立場が違う者同士でしたので、色々な視点が学べて参考になりました。(市町行政担当者)
- 推進の流れがよくわかった。資料にも出典をつけていただいております、後で調べるのに参考になるため非常に有難いです。口調も堅苦しくなく印象が良かったです。(市町行政担当者)
- 情報交換・グループワークの進め方に書く作業を入れることで、「冷静」に考えられる部分があります。それぞれ、立場がちがったのですが、私にとってはいろいろアイデアや考えが広がり良かったです。(「学校を核とした地域力強化プラン」推進協議会委員)

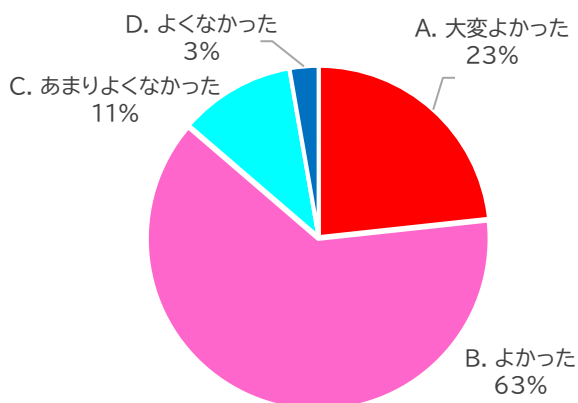
### 参加者の内訳

(アンケート回答数 79)



### 講演の内容

(アンケート回答数 73)



### 情報交換・グループワーク

(アンケート回答数 74)

